

最 新

唱 歌 教 科 書

(伴 奏 附)

波路の彼方

(小ロシア民謡)

Andante.

Musical notation for the first system on page 31. It features a vocal line in the upper staff and a piano accompaniment in the lower two staves. The key signature is one flat (B-flat) and the time signature is 3/4. The tempo is marked *Andante.* The piano part begins with a dynamic marking of *mf*.

ハ
コ
ガ
ネ
ノ
イ
ハ
ハ

pp

Musical notation for the second system on page 31. It features a vocal line in the upper staff and a piano accompaniment in the lower two staves. The piano part begins with a dynamic marking of *pp*.

ハ
コ
ノ
メ
ハ
ル
ケ
キ
ウ
ハ
ワ
ガ
ム
ネ
コ

Musical notation for the first system on page 32. It features a vocal line in the upper staff and a piano accompaniment in the lower two staves. The piano part begins with a dynamic marking of *mf* and ends with a dynamic marking of *f*.

ナ
バ
ラ
シ
ツ
カ
ニ
ク
ラ
ン
ラ
ミ
ワ
ガ
ム
レ
シ
ラ
ナ

Musical notation for the second system on page 32. It features a vocal line in the upper staff and a piano accompaniment in the lower two staves. The piano part begins with a dynamic marking of *pp*.

メ
シ
ハ
サ
ナ
シ
カ
ム
メ
シ
ム

Musical notation for the third system on page 32. It features a vocal line in the upper staff and a piano accompaniment in the lower two staves. The piano part begins with a dynamic marking of *mf* and ends with a dynamic marking of *f*.

カ
オ
モ
ナ
シ
カ
ニ
オ
モ
ナ
シ
カ

樂しげなる農夫

Allegretto.

Musical score for the first system on page 34, featuring a vocal line and piano accompaniment in 4/4 time.

Musical score for the second system on page 34, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Musical score for the third system on page 34, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Musical score for the first system on page 33, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Musical score for the second system on page 33, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Musical score for the third system on page 33, featuring a vocal line and piano accompaniment.

* (歌詞第一章ノ終ニハ小音符ヲ用フルヲ其シトス)

卒業の友を送る

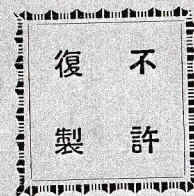
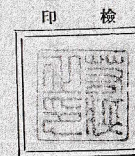
mf

ニナハ キカナ ノキン アツア シキシ タヒタ モナニ カのキ ゼのキ にノ ヨハヨ モにニ ツビロ トロ

メビロ ハナシ ゲれズ ミにケ テシキ イモチ ヤヨモ コモア コモラ ニヨバ イモキ トシミ モヨロ ハチコ アミタ ルカチ

アヘカ ヤダハ ニツリ シセミ キモテ カノオ サモル ルモヒ ノハル キリカ ミハニ イハク ハハラ イモタ ハンハ

昭和貳年三月二十日印刷
昭和貳年四月一日發行



定價金壹圓五十錢

編 纂 者 若 狹 萬 次 郎

大阪市東區北濱三丁目二〇番地ノ一

印 刷 者 山 中 壽 一

大阪市東區北濱三丁目二〇番地ノ一

印 刷 所 山 中 金 龍 堂

大阪市西區北堀江通一丁目

發 行 所 日 本 樂 器 製 造 株 式 會 社

代 表 者 大 阪 支 店
刀 原 四 郎

○落花

ひらひら ひらと 散るよ
いづこにゆくらん さくら花
語らず いはず
流れに うかびて

ゆくか。

○田植

犬童 球溪

一、新緑の若葉の茂れる鄙には

田植の菅笠涼しき歌聲

裳裾をぬらすも御國のみ爲ぞ

歌ひて植わよや筋目も正しく。

二、父母兄弟もろとも歌ひて

嬉しく楽しく植わたる玉苗

豊けきみのりを今より見するか

葉毎に宿せる夜露の白玉。

○螢

一、軒端 きよき 夕月
宿す 露か 螢火

水に 影を うつつして

葉影 涼し 短夜。

二、白雨 はれし 夏の夜

蛙 なげる 田面を

ちかり ちかり 光かるは

螢の やみに 飛ぶなり。

○夏の黄昏

山崎 紫泉

一、青葉若葉の 風そよぐ

小川の堤にさまよへば

ゆかしき香 ホロ／＼と

夕やみもれてながれ来る

二、かすけきみ空の星かげに

螢のかがり火うつろひて

笑ふや やさし卵の花の

香るやゆかし夏のよひ。

○湖上の月

一、浮べし小舟の棹をおきて

舳たゞき唱歌うたへば

其聲遙げく空にひゞき

雲居の月にも通ひゆかん。

躍れる小魚のかけも見にて

鏡と見する湖の面に

黄金の波を千々に砕く

二、又なき良夜と笛をとりて

好める曲調月にふけば

其音は清けく四方にひびき

岸べの村にも通ひ行かん

操つる水棹の雫おちて

鏡と見する湖の面に

白玉真玉千々に砕く。

○夏の夜

一、なはてそひて 風は吹き

青葉しげり 香りみつ

仰ぐほるか 色もこく

瑠璃のみ空 雲はたへ

空にみつる 星はみな

きららきらら ひかるなり

涼しき夜夏は来ぬ たのしき短夜や

夜あそぶ夏は来ぬ たのしめ夏の夜

二、水はみちて 川に田に

うたふ蛙 ふしもよし

雲井の夜に なきてとぶ

聲もゆかし ほとゝぎす

たびのやぎに 夢をたち

ほとゝたゞく くひなごり

おもしろき調べなり 楽しき夏の夜や

おもしろの夏は来ぬ 楽しめ夏の夜。

○夜の歌

犬童 球溪

一、夜の帷あたりをこめて

月かげ幽に木の間をり来る

静けき夜や

遠くひゞく妙なる小箏

誰にきけよの誰れの調べか。

二、里も森も静に更けて

星かげきら／＼み空にまた／＼く

淋しき夜や

遠き彼方笛の音ひゞく

誰れにきけよの誰れの調べか。

○故郷の山河

一、麗朗の日かげに花は咲けど

故郷思へば心わびし

父母兄弟つがはなきか

夢にも見ゆるよ故郷の小山

名残を惜しみて別れし春は

再び此身にめぐり来る

何れの時にか事成し遂げて

戀しき山河 馴れにし山河

我は訪はん。

二、み空の月かげ清くすめど

故郷思へば眼曇る

姉妹友がきつつがはなきか

夢にも浮ぶよ故郷の小川

我家を離れて幾年月を

さすらふ此身に秋は来る

何れの時にか學業を終へて

戀しき山河 馴れにし山河

我は訪はん。

○波路の彼方

犬童 球溪

一、黄金色そめし 遙けき海原

静かに暮れそめて 夕日は沈むか

思へばなつかしや 波路の彼方の。

二、心はこばさや わが胸しら波

戀しきふるさとの 母ます磯邊に

思へばなつかしや 波路の彼方の。